

静岡一隊 カピバラ班 大坂 一心

どのような人と班になるのかと不安と期待感の中、結隊式と班会議が行われた。

カピバラ班は七人構成で、富士九団が四人で、伊東三団が一人、伊東五団が私も含め二名だった。

四月の末、合同訓練キャンプが実施された。カピバラ班の参加者は五名で、カピバラ班と名付けられたのはこの日のことだった。

5月はじめ、坂本隊長から静岡一隊オリジナルTシャツのデザイン製作を依頼され班会議が行われた。

デザインを考えるのは、想像以上に難しく、ロゴマークを決めることで、ほとんどの時間を費やした。ロゴマークのデザインは、富士山を使う等、様々なアイデアがあったが結局は、三つの市の花を組み合わせる事となった。最終的にTシャツのデザインが完成したのは、六月中頃だったが、カピバラ班に取って最も協力し完成させたものであると思う。

八月三日、ついに珠洲へ出発する夜を迎えた。伊東を出発したのは二十時半頃、富士を出発したのは二十二時ごろで、約十二時間で珠洲に到着した。

開会式等も印象的だったが、最も印象深かったのが、七日の出来事だった。

八月七日は、ジャンボリー大集会があり、それが終わった後のことだった。カピバラ班の班員一人が熱中症と診られる症状で倒れた。一番最初に気付いたのは班長だった。テントに連れて行き、寝かせた後に痙攣を起こした。その時は翌日彼が天気に戻ってこられるようにすることしか考えられなかった。幸い翌日の朝には戻ってこられていたが、カピバラ班が一丸となったのは、この夜が一番だと思う。

最後に、今回のジャンボリーで培った経験とチームワークは今後ボーイスカウト、その他の生活においても重要で貴重であったと思う。